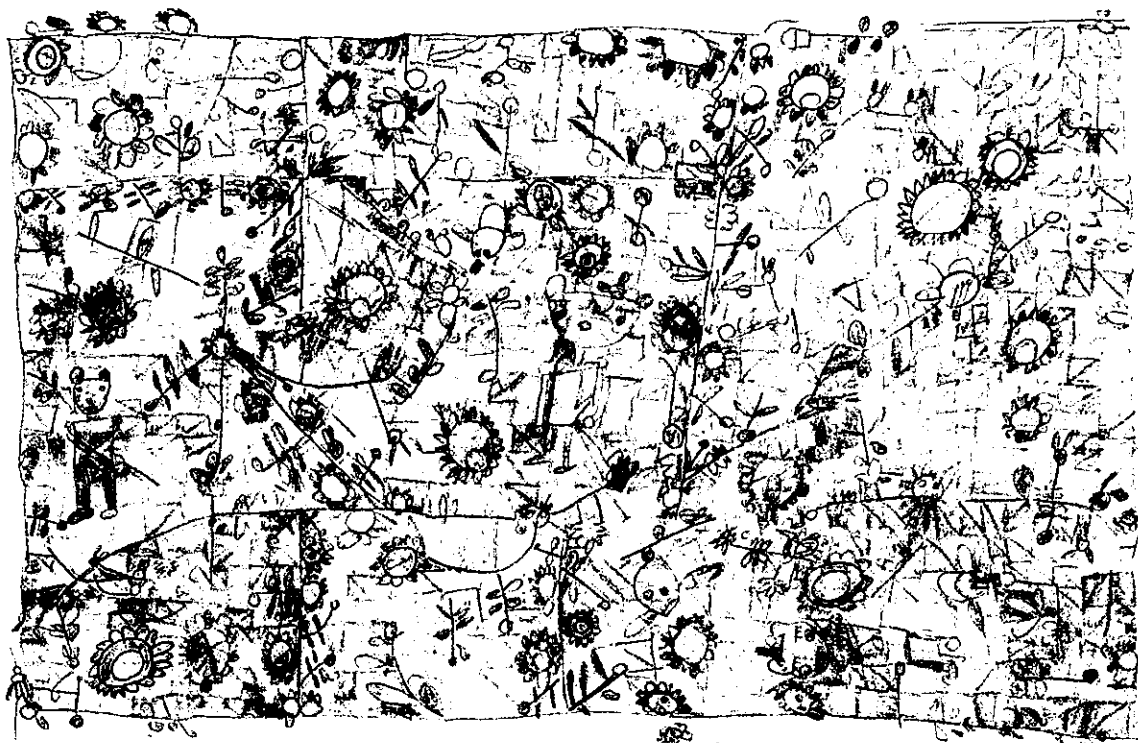


第6期 小郡市障がい福祉計画  
第2期 小郡市障がい児福祉計画

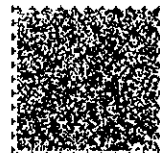


**Koga kana**

(就労継続支援事業所B型風の丘)

令和3年3月

小郡市



## はじめに

今回、この計画を策定するにあたり、当事者、保護者、事業所の皆様のご協力を頂き、たくさんのお声を聴くことができました。その中で、重度の障がいを抱える方の保護者からこんな声がありました。

「何かができないという風に捉えると、『生産性がない』、『何のために生きているのか』と言われたときに、説明が難しいと感じていた。しかし、極端に言うと、この子がいることによって支援の質を上げるという指導者のような役割を果たしている。そういうところにスポットをあててほしい。できない、迷惑な人というレッテルがどうしても貼られてしまうが、皆、意味があって生まれてきていることを証明できればうれしい。」

どんなに重度の障がいがあっても、誰ともとりかえることができない個性的な自己実現をしているものであり、その自己実現こそが創造であり、生産であると私たちは考えます。そして、その自己実現を支えるもののひとつとして、この計画が存在します。

この計画をイメージしやすいものに例えるとして、花を植えるための土だと考えてみましょう。植物は、土だけでは成長することはできません。太陽や空気、雨、そして受粉のための虫等、たくさんのもものが関係することで美しい花を咲かせることができます。そして、その花がまた豊かな土をつくりだし、新たな命を生み出し、多様な生物が共生する生きやすい世界をつくりだします。

花が咲いて実を結ぶのにも様々な環境が作用するように、地域の障がい者・児福祉のまちづくりにおいても、当事者、保護者、事業所、行政、地域等が関わり合って互いを支える中で、それぞれの特性が活かされ自己実現につながっていくものと考えます。その一つの支えとして今後取り組みを進めるため、ここに計画を策定します。

